

医療法人社団葵会 柏たなか病院

# 回復期 リハビリテーション病棟 ご案内

すべては患者様のために

# ごあいさつ



柏たなか病院 院長

長谷川 奉延

回復期リハビリテーション病棟では『すべては患者様のために』というリハビリテーション部の理念のもと、すべての患者様に対して病態に応じた目標を設定し、患者様主体のエビデンスに基づいたリハビリテーションを提供します。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士、社会福祉士、管理栄養士、薬剤師などの多職種が連携したチーム医療を実践しています。脳血管障害、骨折、廃用症候群など患者様の疾患はもとより、ご希望やニーズ、お仕事、ご家庭の環境、退院後に必要となる支援など一つとして同じことはありません。

患者様ご家族に寄り添い、コミュニケーションを大切にし、お一人お一人にパーソナライズされた最適のリハビリテーションを心がけています。

柏たなか病院は頑張る患者様の『もう一度』のために、手を引き、伴走し、社会に戻る背中をそっと押す。それをたゆまず実践していく病院を目指しています。



# 回復期リハビリテーション病棟

患者様の気持ちに寄り添い、励まし、機能・能力回復のお手伝いをします。

## ■ 病棟



## ■ デイルーム



ナースステーションの前には大型テレビが設置されたデイルームがあり、食事や休憩の場として使われています。看護師や看護補助者が随時巡回し、患者様のケアにあたります。機能の改善を目指す病棟として、身の回りのことは自分で出来るように支援いたします。

## ■ 病室

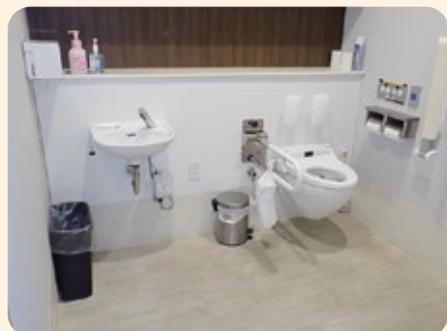


- 個室：差額ベッド代 11,000円/日
- 2人部屋：差額ベッド代 5,500円/日
- 4人部屋：差額ベッド代 なし

個室は全4室、2人部屋は全2室、4人部屋は14室あります。  
設備は新しく、とてもきれいです。

## ■ トイレ

跳ね上げ式の手すりがあり、車いすもスムーズに入れます。



## ■ 浴室

浴室は個浴・機械浴と二種類あります。  
患者様のご状態に合わせて入浴方法を検討します。

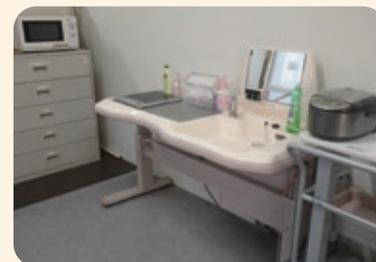


# リハビリテーション室

ケアキューブの2階と3階に大きなリハビリテーション室を2室完備しております。スタッフステーションからリハビリテーション室をガラス越しに見る事が出来るため、患者様の異変に気づきやすく、迅速に対応する事が可能です。



テラスには砂利道や芝生といった応用歩行の練習場所や、園芸スペース、屋外を一望できる景色も患者様から好評です。365日体制でリハビリテーションを提供しています。



## 理学療法

病気やけが、あるいは手術により生じた身体の障害や運動能力の低下を改善し、「寝返り」「起き上がり」「起立」「歩行」等の基本動作の回復を図ります。



免荷歩行器での  
連続歩行訓練

重度の障害を抱えた患者様でも長時間の歩行訓練を安全に行うことが可能です。装着も容易で、より多くの時間を歩行訓練に費やすことが可能です。



小型POPO



長下肢装具・  
短下肢装具での歩行訓練

脳卒中片麻痺患者様に効果的かつ積極的な立位・歩行訓練を行うことで、早期回復につなげていきます。





## 言語聴覚療法

脳血管疾患や神経難病などにより言語機能やコミュニケーション能力が低下している患者様、摂食嚥下機能が低下している患者様に対し、評価・訓練を行います。



### 言語訓練

失語症・構音障害などの言語障害を抱えている患者様に対し、評価・訓練を実施し、日常生活でのコミュニケーションをサポートします。



### 嚥下機能評価

VF（嚥下造影検査）、VE（嚥下内視鏡検査）、舌下測定器などの機器を用いて客観的な評価を実施できる環境があります。



### 高次脳機能訓練

高次脳機能障害を抱えている患者様に対し、評価・訓練を実施し、退院後に在宅生活や職場復帰が可能となるようサポートします。



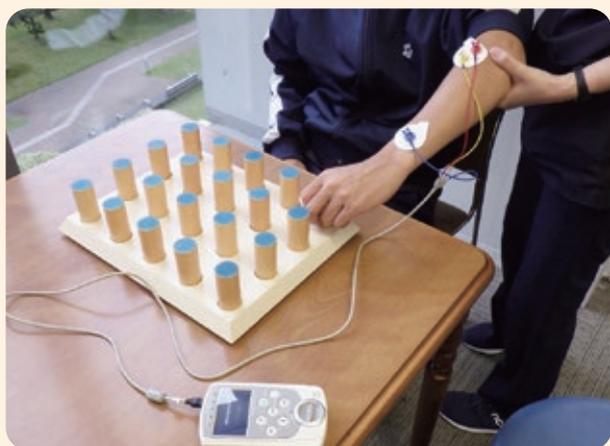
### 嚥下機能訓練

嚥下機能低下により「食べる」「飲む」ことに困難さを抱えている患者様に対し、経口摂取訓練や電気刺激療法などを実施します。



## 作業療法

自立した生活ができるよう日常生活動作や家事動作に目を向け、作業活動や生活訓練を通じて、身体機能及び認知機能の回復を図ります。



### 上肢機能訓練

IVES（随意運動介助電気刺激/刺激装置）を用いて運動学習を促し、麻痺の回復を図る治療法も提供しています。



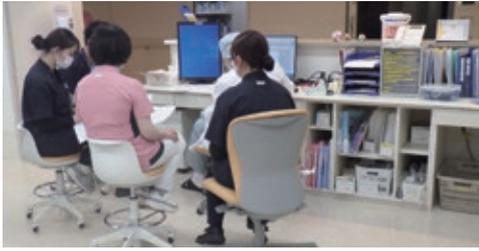
### 日常生活動作（ADL）訓練

患者様に自宅の様子を伺い、どのような動作方法、環境設定が最良かを話し合いながら決め、一人ひとりに合わせた ADL 訓練を実施しています。

# ご自宅への退院に向けて

退院後、ご自宅でなるべく快適に過ごせる様に

家屋訪問による生活環境の調整から退院後の過ごし方まで、ご提案とサポートをしていきます。



自宅退院に向けての問題点を多職種がそれぞれ抽出し、目標の共有をおこなっています。



患者様の能力を最大限引き出せるよう、装具療法の適応や装具作成の必要性について検討しています。



和式生活の練習や万が一の転倒に備えた床上動作訓練も実施いたします。



退院前に家屋訪問を行い、生活環境の確認を行います。安全かつ効率的な動作方法と最適な環境調整をご提案させていただきます。



リハビリテーション室内のキッチンを利用し、必要に応じて調理訓練を実施いたします。



退院後に必要な応用動作に応じて、公共交通機関の利用や買い物等の院外でのリハビリテーションも実施いたします。



退院後の生活を見据えて、柏たなか駅周辺での歩行訓練や階段昇降訓練も実施いたします。



自動車運転再開に向けた検査・訓練も実施いたします。シミュレーターのみならず、近隣の免許センターと提携しているので実車評価も検討いたします。



ご自宅へ退院

# 1日のスケジュール

回復期リハビリテーション病棟は60床の活気ある病棟です。

快適な日常生活を送ることができるように多職種が介入し、チームで連携を図っています。

## スケジュール例

7:30		11:30				18:30			
朝食	着替え	リハビリ	昼食	リハビリ	入浴	リハビリ	着替え	夕食	
									

※リハビリ提供時間は疾患によって異なります。

脳血管疾患は1日最大3時間、整形外科疾患は1日最大2～3時間となります。

## 病棟イベント

季節感を味わっていただくために病棟スタッフが季節毎にイベントを開催しております。



## 急性期病院様との連携について

急性期病院様との連携を強化するためにも、当院回復期への入院をご紹介いただいた病院関係者様には文書にて退院時に経過報告をさせていただきます。入退院時のFIM、リハビリテーションの経過報告、患者様の退院後の目標等を記載し送付いたします。連携を強化し退院後の患者様も急性期病院と協力してフォローアップ出来るように努めてまいります。

## アフターフォローとして

当院の通所リハビリテーションや外来リハビリテーションでは、入院時の情報を共有し、継続的なリハビリフォローを実施いたします。



通所リハビリテーション  
(当院1F)



外来リハビリテーション

## 交通アクセス



### 電車ご利用の場合

【つくばエクスプレス】  
柏たなか駅 徒歩約1分

【JR常磐線・東武アーバンパークライン】  
柏駅西口 柏駅西口送迎バス

【JR常磐線】  
北柏駅北口 北柏送迎バス

### 車ご利用の場合

常磐自動車道 柏インターより 約8分

### 送迎バスご利用の場合

柏駅西口・北柏の送迎バスの他に田中地区・東急ビレッジ・柏の葉キャンパス送迎バスがあります。

※ホームページから時刻表・送迎路線図をご確認いただけます。

<http://www.aoikai.jp/kashiwatanaka/>

## 医療法人社団葵会 柏たなか病院

〒277-0803 千葉県柏市小青田1-3-2

☎04-7131-2000(代表) FAX.04-7131-5696 (連携室直通)

ホームページQRコード

